

少しの「できる」が「ええまちごせ」をつくる

「協議体」が発足するまでの御所市の生活体制整備事業（平成30年度～現在）の経過を示しています。



2018年8月4日、「みんなでつくる助け合いのまちづくり『ごせあったかフォーラム』」を御所市中央公民館で開催し、120人を超える市民が参加しました。

第1部では、公益財団法人さわやか福祉財団戦略アドバイザーの土屋幸己さんが、今後わが国の社会保障制度に生じるさまざまな課題について説明され、地域での「助け合い・支え合い」活動の重要性を強調されました。

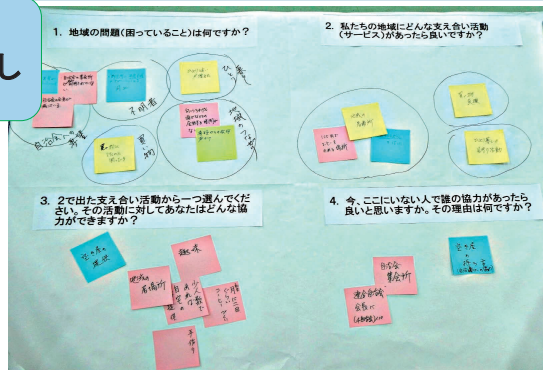


第2部では、市内で「助け合い・支え合い」活動がされているみなさんが、生きがいづくりや介護予防運動、サロン活動、見守り、有償ボランティアなどの活動内容を報告し、参加者はさまざまな事例に熱心に耳を傾けていました。「ええまちごせ」をめざし、地域で助け合い、支え合うために、一人ひとりができることは何かを考える最初の一步となりました。

「ごせあったかフォーラム」を経て、市民対象で『助け合いのまちづくり勉強会(全3回)』を開催しました。

- ① 地域のつながりの希薄化
- ② 情報不足
- ③ 交通難民
- ④ 日常生活の不安
- ⑤ ひとり暮らしの方の安全・見守り
- ⑥ 災害時の不安
- ⑦ 空き家・空き地問題

人口減少や少子高齢化が進み、地域のつながりの希薄化や高齢者の孤立化など、さまざまな課題が浮き彫りになりました。



「協議体」の立ち上げ 平成31年4月23日

【目指す地域づくりの効果】

1. 地域(居場所)の活性化
2. 地域・活動者の把握
3. つながりの再現=見守り
4. シニアの生きがい=生活支援

課題と向き合うために、市民13名で「協議体」を発足しました。今後、地域の情報を共有し、御所市ならではの支え合いの仕組みを協議し、活動を進めて行く予定です。



御所市役所